

	神戸大学 工学分野
学部等の教育研究 組織の名称	工学部（第1年次:540 第3年次:20） 大学院工学研究科（M:324 D:42） 大学院システム情報学研究科（M:80 D:14）
沿 革	大正10（1921）年 神戸高等工業学校創立 昭和19（1944）年 神戸工業専門学校に改称 昭和24（1949）年 新制神戸大学工学部設置 昭和39（1964）年 大学院工学研究科修士課程設置 昭和56（1981）年 大学院自然科学研究科博士課程後期課程設置（後期三年の課程のみの博士課程） 平成6（1994）年 大学院工学研究科を改組し、大学院自然科学研究科博士課程前期課程とした 平成19（2007）年 大学院自然科学研究科博士課程を改組し、大学院工学研究科博士課程設置 平成22（2010）年 大学院システム情報学研究科博士課程設置
設置目的等	<p>神戸大学工学部の母体の一つである神戸高等工業学校は、我が国の工業化の進展に伴う指導者の養成、特に西欧で発展を遂げた最新の科学技術の基礎の修得を目的として大正10年に設置された（昭和19年神戸工業専門学校に改称）。</p> <p>新制国立大学の発足時には、神戸工業専門学校は、神戸大学工学部として承継された。</p> <p>昭和39年、一般的並びに専門的教養の基礎の上に、広い視野に立って精深な学識を修め工学における理論と応用の研究能力を養うことを目的に、工学研究科修士課程が設置された。</p> <p>昭和56年、現代における自然科学系分野に対する学問的並びに社会的要請をふまえて、理学、工学及び農学にまたがる幅広い立場から総合的な新しい学問体系の確立をはかり、また、その教育・研究を通じて、科学・技術の発展と人類の福祉向上に貢献することを目的に、独立研究科として自然科学研究科博士課程後期課程（後期三年の課程のみの博士課程）が設置された。</p> <p>平成6年、理学研究科、農学研究科、工学研究科の修士課程を統合し、旧来の研究科間の枠を取り払い、より高度な教育をめざす旧研究科の趣旨を残しつつ、より広い視野の研究者・技術者の育成を目的に、</p>

	<p>大学院の一貫した教育を進めるため、工学研究科修士課程を改組し、区分制博士課程としての自然科学研究科博士課程前期課程に移行した。</p> <p>平成19年、学士課程から博士前期課程、博士後期課程を通じた教育の組織的展開を図り、従来の分野横断的な教育研究を維持しつつ、学生の視点に立った教育、ディシプリンを重視した教育の展開を図ることを目的に、自然科学研究科を改組し、ディシプリンを重視した教育を行う区分制の工学研究科博士課程と分野横断的な学際教育研究を行う自然科学系先端融合研究環が設置された。</p> <p>平成22年、システム情報学を追求するための理論・方法論に関する教育研究を強力に推進することを目的に、システム情報学研究科が設置された。</p>
<p>強みや特色、社会的な役割</p>	<p>神戸大学においては、グローバルな先端研究の推進を図りつつ、「学理と実際の調和」が実践できる人材養成を行い、我が国発のグローバルな産業イノベーションに寄与することを目指して教育研究に取り組んでおり、以下の強みや特色、社会的な役割を有している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 世界に開かれた国際都市神戸に立地する大学として、幅広い知識と学際的視点を有する人材、特に複眼的視野、豊かな創造性・国際性、課題探求能力を有する高度な技術者の育成の役割を果たすとともに、高度な研究能力を持つ先導的な人材の育成の役割を果たす。 ○ 複眼的視野を持った創造性豊かな人材育成を目的とする専攻横断的な「マルチメジャーコース」や分野横断的な先端融合教育プログラム、海外研究機関での研究研鑽を積む「プレミアム・プログラム」などの特色ある教育を進めてきた実績を生かし、一層の学際性、国際性の醸成を目指した教育改革を進め、グローバルに活躍できる工学系人材を育成する学部・大学院教育を目指して不断の改善・充実に努める。 ○ 膜工学、バイオプロダクション、界面科学を始めとする応用化学、減災のための都市安全工学、計算科学と計算機科学の融合に関する研究など、工学の多くの分野における高い研究実績と、分野の枠組みを越えた融合研究を推進する全学協力体制も生かし、先端的な研究を総合的に推進する。 ○ 受託研究・共同研究の高い受け入れ実績と、産学官の情報交換のための工学コミュニティを生かし、今後とも我が国の産業を支える

実践的な研究を一層推進する。

- 革新的分離膜を用いた水処理技術の開発に取り組む「ひょうご環境・エネルギーイノベーション・クラスター戦略推進地域」への参画や、離島（兵庫県）における自立分散エネルギーシステム技術の実証研究など、兵庫県発のグローバルな産業イノベーションに寄与し、地域貢献・社会貢献を推進する。
- 計算機シミュレーションを理解し活用できる企業人材の養成を図るため、テーラーメイドの教育カリキュラムによる「神戸計算科学人材育成プロジェクト」の実施、毎年20名程度の社会人の博士課程後期課程への受け入れなど、社会の要請に応じた機能を果たすとともに、社会人の学び直しを推進する。
- 阪神・淡路大震災の被災地の総合大学としての経験を生かし、安全安心な防災・減災都市づくりを中心とした学術研究を行うとともに、東日本大震災の復興支援、さらに、国際的な社会貢献を推進する。